

1) これまでの協議結果

資料2-1、-2、-3、-4、-5

OWG I 「希少動植物保全」について

今年度実施される希少動植物の保全及び調査活動をまとめたチラシを作成。それぞれの活動の周知の際に、併せて周知をする。

「渡良瀬遊水地 自然環境の保全方針（案）」、「自然環境の保全 取り組み（案）」、「渡良瀬遊水地の自然環境の保全 具体的な取り組み（案）」を作成。協議会（8/1）で承認を得て（具体的な取り組み（案）以外）、「渡良瀬遊水地宣言」をもとにした共有の方針として、メディア等にも周知をする。

OWG II 「教育・普及のための教材作り」について

資料3-1、-2

「渡良瀬遊水地探検ブック[I]」「渡良瀬遊水地探検ブック[II]」を作成。データの配布と周知を行う。

2) 具体的テーマについて

- ①遊水地保全・再生検討部会・・・テーマ「野鳥の生息環境の保全」
- ②人々の交流・教育・普及啓発検討部会
・・・テーマ「普及啓発のための人材育成」

○「野鳥の生息環境の保全」

渡良瀬遊水地の各「環境学習フィールド」と昨年度未完成した「人為攪乱型実験地」の概要について、利根川上流河川事務所様より説明。

特にコウノトリ等の鳥類の餌場として機能する湿地帯を創出することを目的としていることから、保全・利活用協議会としてもどのような働きかけができるかを検討。様々な情報・意見を出し合う。

例) 近隣で類似の活動をしている

耕起のやり方 ボランティアの派遣 等

コウノトリが飛来して、定着に近づいている。渡良瀬遊水地や周辺にて採餌や巣作り等を行っている。そんな中、故意に近づいてコウノトリにストレスを与える行動をしている方が見受けられる。保全・利活用協議会として、どのような対策が取れるかを検討する。

○「普及啓発のための人材育成」

渡良瀬遊水地で活動しているガイド団体から現状や課題を発表していただく。今後協議していく内容を検討していく。

- ・渡良瀬遊水地ガイドクラブ
- ・小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会
- ・谷中村の遺跡を守る会 他